

山形県地域密着型サービス自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

※項目番号26 馴染みながらのサービス利用
 項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
 については、小規模多機能型居宅介護事業所のみ記入してください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム満天の家
(ユニット名)	こもれび棟
所在地 (県・市町村名)	山形県西置賜郡小国町大字幸町6-1
記入者名 (管理者)	舟山 靖恵
記入日	平成 20 年 11 月 1日

山形県地域密着型サービス自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	法人の理念に基づき、事業所に独自の理念を掲げ、ユニット内に掲示している。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	常時、その人らしさを大切にすること、個別ケアの大切さを伝えている。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	事業所玄関の見やすい場所に大きく掲げている。	○ 今後は地域に向けた広報誌にも理念を紹介していきたい
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	ご近所の方々には気軽に挨拶をし、声をかけるように努めている。また、運動会・防災訓練・満天祭りの案内や招待状を配布・回覧し、気軽に来所していただけるようにしている。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の一員として、早朝清掃等の地域行事に参加している。GHの行事を回覧・訪問することでお知らせし、地域の方々にも参加していただき、交流を図っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議にて、民生委員や公民館長と情報交換を行い、地域に役立つことはないか話し合いを持っている。防災訓練の一つとして起震車に来ていただき、地域の方々にも体験していただいている。	○	特に認知症に関して知識を広げていただけるような取り組みを事業所として行っていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価について全体会にて説明し、周知を図り改善点に取り組んできた。ユニット内で話し合いを持ち、自己評価表の一つひとつの項目について確認と検討を行っている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1度、運営推進会議を開催し、その都度、取り組みについて報告を行い、意見をいただいている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町主催のケアスタッフの勉強会に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。また、町の高齢者部会にも参加し、情報交換を行い、連携を密にしている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、お一人の利用者が成年後見人制度を利用されていたことでユニット会議にて説明していただき、学ぶ機会を持っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会にて内部研修を行っている。また、利用者の権利、グループホームの倫理綱領を明示し職員一人ひとりが防止に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、重要事項説明書を基に事業所の説明を十分に行い理解と納得をいただいている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とは日常会話の中で、また、家族とは面会時などに、困っていることなどないか聞き取り、運営に反映させている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>通院や状態変化時には必ずその都度、報告を行っている。金銭管理については毎月毎に、領収書を基に残金を確認し、請求書と一緒にノートのコピーを送付し、確認をいただいている。 職員の異動等については棟毎に写真を掲示し、通院報告時や面会時等に個々に紹介・報告を行っている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>サービス担当者会議や面会時に特に意識をして聞き取りを行うとともに、意見箱を設置し、意見・不満・苦情の吸い上げを行っている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月毎の全体会・ユニット会議、毎日のミーティングにて、意見・提案を聞く場を設けている。また、個人の目標を基に、個別面談を行い、意見を聞き、反映させている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状態により、管理者・職員間で話し合いを持ち、勤務体制を調整している。また、2ユニット掛け持ちできる職員がおり、柔軟な対応ができている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるよう配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット間で行き来を行うとともに、合同行事を行っている。理解可能な利用者には職員異動前に事前説明を行い、安心して過ごしていただけるように配慮をしている。ご家族様には面会時等に報告を行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人主催のGH研修会・こやまケア研修会、法人内の交換研修、GH連絡協議会主催の勉強会等を行っている。事業所内では月に一度の全体会にて、看護師やケアマネによる勉強会を行っている。また、県内の研修会にも積極的に参加している。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町主催のケアスタッフの勉強会に参加することで他事業所職員との交流を図っている。また、行事などで協力をいただき、交流を図っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>個人面談により職員の悩み等の聞き取りを行っている。また、親睦を深めるとともにストレスを軽減するために食事会を行っている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個人個人が目標を設定し、達成できるように取り組みを行っている。各々の職員が各委員会に属し、積極的に取り組んでいる。</p>	
<p>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用申し込みに至るまで、パンフレットを用いてGHの様子を説明し、見学していただいている。また、相談内容をお聴きし、訪問を行い、ご本人の不安や意思の確認を行っている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用申し込みがあった場合は必ずGHの見学をしていただき、そのときによくお話しをお聴きしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況・状態に応じてGHの利用が適切かどうか、何を必要としているかを見極め、ご本人とご家族の実情をふまえ、必要に応じて他の事業所の利用の調整を行っている。		
26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりが何かしらの役割を持っていただき、共に助け合って生活している環境を作っている。また、お客様より家事や料理を学び、一緒に行っている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	困ったときにはご家族に相談させていただき、共に支援策を導き出している。また、連絡を密にすること、行事に参加していただくことで一緒に楽しい時間を過ごしていただいている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各月毎にGH便りとユニット便りをお送りしている。また、ユニット便りにて各担当者が近況報告を行っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できるだけ馴染みの理・美容院を利用するようにしている。病院も今まで通院してきた病院を受診できるようにしている。家族・親戚・知人の方が気軽に訪問できる雰囲気を作っている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常時、共同で利用できる場所を提供している。一人ひとりの利用者が孤立、もしくは対立しないように利用者同士の関係を把握し、職員が常に気を配り、間に入ることで利用者間の関係を良い方向に持って行くように支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も他施設や病院に面会に出かけたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式にて個々の利用者の希望・意向を把握し、取り入れている。ケアプラン更新時には必ずご本人とご家族の意思を再確認し、ケアプランに反映させている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式にて、本人・家族・知人等より、利用者の生活歴・暮らし方・生活環境を情報収集し、把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	24時間アセスメントまとめシートを使用し、一人ひとりの一日の過ごし方・心身状況・残存能力の現状把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン変更時はその方らしく暮らし続けるために、本人・家族・担当職員・他職員の意見・アイデアを出し合い介護計画を作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングを月1回行い、常時、見直しが必要であるかを確認している。状態変化時はその都度関係者と連絡を取り合い、サービス担当者会議を行い、ケアプランの見直しをかける。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに添った介護を行い、日々の様子・ケアの実践・結果・気づき等を介護記録に記入するとともに毎日のミーティングにて話し合い、情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、公民館、図書館、その他公共的施設などの協力を得ながら支援している	GHの行事、その他の際にも日々ボランティアの受け入れを行っている。避難訓練・起震車体験の際は消防署に協力していただいている。警察、郵便局などにも支援をいただいている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や生活支援上の必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、介護保険外も含めて他のサービスを利用するための支援をしている	在宅生活時の担当ケアマネがGHに面会に来てくださったり、お互い情報提供を行い連携を図っている。必要に応じて、歯科医院の往診をいただいている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の委員として意見をいただき、また情報提供を行い、連携を図っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、本人・家族の希望を取り入れ、希望に応じて適切な医療を受けられるように支援を行っている。やむを得ずかかりつけ医を変更しなければならない場合は本人・家族と話し合いを持ち、同意を得ている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々の暮らしをより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の誇り・プライバシーを損ねるような言葉かけや対応は行っていない。 個別ケアに取り組み、利用者の人権・人格を尊重する「こやまケア」を実践し、職員の資質向上とサービスの向上を目指して自己評価を行っている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が思いや希望を表せるように働きかけや声かけを行っている。また、わかる力に応じた説明を行い、希望に応じて外出・外食・面会・ドライブ等に出かけ気分転換を図っている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合や思いを優先することはせず、個々の利用者の気持ち・思い・言葉・ペースを大切にし、日常の会話・天候等に合わせて、散歩等を取り入れながらその日をどのように過ごすかを決定している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	一人ひとりがその方らしい身だしなみができるように声かけ・介助を行い、理美容室はできる限り本人が希望されるお店に行けるようにしている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の食材を使用し、献立を作成することで季節を感じながら食事を摂っていただいている。 無理のないように利用者と職員と一緒に食事作り・盛り付け・テーブルセッティング・後片付け・食器洗い・食器拭き等を行っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの利用者がそれぞれの好みに応じて飲み物を飲んでいただけるように、何種類かの飲み物をワゴンに乗せて選んでいただき提供している。行事・入浴後等、アルコール類の提供を行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、お客様からの声かけや職員の声かけにてトイレ誘導を行い、気持ちよく排泄できるように支援を行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の都合や無理強いによって入浴を行うことはせず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴にお誘いしている。入浴拒否のある利用者に対しては職員間で情報交換を行い、様々なパターンに応じて対応を行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣・体調・状況に応じて、休息を促したり、安心して眠っていただけるように支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴・残存機能を活かすことで、その方に合った役割り・楽しみ事を見つけ出し、支援を行っている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な利用者には支援を行いながら金銭管理をしていただき、希望に応じて買い物にも行かれ、支払いを行っている。管理が困難な利用者には希望される時に使用できるように支援を行っている。また、可能な利用者には通院時の支払いをしていただいている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調・状況・希望に応じて、買い物・散歩・ドライブ等にお誘いし、出かけている。また、担当者を中心にして、面会・外出・外食を行い、担当お客様との時間を大切にしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ユニットでのドライブ・外食・外出・散歩等を行っている。今年度は蕨採り・ゆり園見学・温泉ツアーを企画し、外出を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からはがき・荷物等が届いたときに積極的に電話の支援を行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人・友人等の本人の馴染みの方々がいつでも気軽に訪問できる雰囲気を作り、面会時には居心地良く過ごしていただけるように居場所・雰囲気・飲み物等を提供し、また、お帰りの際にはできる限り玄関までのお見送り・声がけを行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会において、内部研修を行い、身体拘束の具体的な行為を理解し、身体拘束を行っていない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる	出入り口・居室に鍵は付けていない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を通してお客様の所在を確認し、職員間で把握に努めている。また、夜間時は定期的に巡視を行い、様子観察をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・はさみ・洗剤等は手の届かない場所や見えない場所に保管し、また、薬剤は保管庫にて施錠して管理を行っている。 利用者の希望に応じてはさみ・針等を使用していただき、使用後は必ず返していただき、保管をしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・誤薬・行方不明・防災マニュアル等を職員が把握するとともに事故・ヒヤリハットがあった場合は必ず記入し、周知することで各々の職員が再発防止に努めている。 ユニット会議にて、先月の事故・ヒヤリハットに対してスタッフ全員で確認し、再発防止の意識の統一を計っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>全職員が緊急マニュアルを理解・把握し、急変時や事故発生時に対応できるようにしている。</p> <p>今年度、ケアスタッフの勉強会にて全職員が普通救命講習を受講し、救命技能を有している。</p>	
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>運営推進会議にて、地域の方々への協力を依頼し、緊急連絡網にて連絡が行くことになっている。</p> <p>避難訓練・起震車体験時には地域の方々も参加して下さっている。</p>	
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>契約時、起こりうるリスクと事故が起きた場合の対処の仕方、状態変化時の危険性も合わせて説明を行っている。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>1日1回のバイタルチェックを行い、変わりのある方には再度バイタルチェックを行っている。申し送りを確実にし、情報を共有し、状態変化時は素早く対応し、状態によっては通院も行っている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬変更時は薬局より説明書をいただき、職員に周知し、薬の目的・副作用・用法・容量を理解している。</p> <p>服薬する時間帯により袋に色違いの印を付け、間違えないように対応している。</p> <p>服薬時は名前を呼び、顔と名前を確認後、服薬していただき、その後、チェック表にチェックを入れている。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分をなるべく多めに摂取していただくように声かけをまめに行っている。野菜を多めにメニューに取り入れたり、毎日、ヨーグルトを摂取していただいたりしている。運動やマッサージを行い、対応している。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後に酢水にて口腔ケアを行うよう支援している。</p> <p>個々の口腔状態・残存能力に応じて口腔ケアを行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー・栄養バランスを考慮し、バランスチェック表を活用し、献立作成を行っている。水分チェック表にて飲水量を把握し、水分が不足と判断できる場合はこまめに声かけを行ったり、果物を摂取していただいたりして対応している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを理解・把握するとともに、全体会にて感染対策委員会が感染対策についての勉強会を行っている。感染症予防のため、手洗い・うがい・食事前の手指の消毒を徹底している。職員出勤時にはうがい・手洗いをし、施行後は勤務表にチェックを行い、感染症予防の統一を図っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品・調理器具・食器類の消毒を行い、衛生管理に努めている。冷蔵庫内の点検・消毒を行うとともに夜勤時に食材のチェックを行い、賞味期限の切れている食材は処分し、期限の近い食材はなるべく早く使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に花を植えたプランターを置き、親しみやすくし、玄関の自動ドアにはシールを貼り、出入り口をわかりやすくしている。ユニットの出入り口前には利用者の作品を展示し、親しみやすさを出すように努めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・フロアに利用者の写真を飾り、落ち着きある和まれる空間・雰囲気を作るように努めている。また、フロア内に季節毎の草花を飾ったり、飾りつけを行い、家庭的な雰囲気を作るよう工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りになれる居室を提供している。フロア内の端にベンチを置き、独りもしくは気の合う利用者同士でゆっくり過ごせる居場所を作っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力を得ながら、今まで使用していた家具や使い慣れたもの等をそのまま持ってきていただいたりして、実際のお部屋と同じ雰囲気、安心して、落ち着いて過ごせるように工夫をしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	炭や脱臭剤等で臭いを防ぐとともに換気に努めている。冬期間は湿度計を設置することでこまめに確認し、加湿器・濡れタオル・洗面所の水張り等を行い、乾燥予防に努めている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の自立した生活を支援するため、フロア内に手すり、トイレに上下式の手すりを設置している。安全に生活が送れるように導線の確保ができています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレのドアには「便所」と明記し、迷わず使用できるように工夫している。また、居室前に一人ひとりの表札をさげることで個々の居室をわかりやすくしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターの花に水やりに出かけたり、GH近辺の公園に散歩に出かけたり、草花摘みを行ったりして楽しまれている。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

とにかく笑顔の絶えない明るく、元気な、そして、表情の豊かなユニットです。職員はとても利用者のことを考え、利用者との関係・時間を大切にし、担当の職員は利用者とは外出・外食に出かけています。一人ひとりの情報を職員がしっかりと共有し、その方の「個性・らしさ」を大切にしながらケアを行っています。また、利用者の些細な言葉や表情・行動に常に気を配り、利用者皆さまが安心して、穏やかに生活できるように支援しています。地域の方々に囲まれながら暮らしていけるように、町内のお店に買い物に出かけたり、近所の公園に散歩に出かけたり、蕨採り、紅葉ドライブ、温泉ツアー等に積極的に外出しています。

これからも利用者の思い・気持ちを大切にしながら、日々のケアを行い、皆さまに愛され、必要とされる事業所となれるように職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。